



ふみしき  
あそび  
あそび  
あそび

# 学校たねの木 説明会

vol.7

とき：2023年3月15日（水）

時間：10時～正午頃

場所：日々の家 福津市津屋崎1丁目 27-32

定員：10名（先着順）

対象：入学を検討されている方、一緒に「里」をつかっていきたい方

申込：氏名、参加人数、電話番号をご記入の上

toگو@tanenoki.net にメールにて申込み下さい。

## 「学校 たねの木-生きるを育む-」のこと、これからのこと

2021年4月に開校した学校たねの木。生きることを根源的に見つめ、手足を動かしながら子どもと大人が学び合う日々を重ねています。短い月日ではありますが、やればやる程、ワクワクすることややりたいことが膨らんでいます。微生物や菌がたくさんいるフカフカの土で野菜や木が育ち、その実りをいただくこと。野草を摘んで、料理したり、手当てするものを作ること。山や庭の木を剪定し、その枝で布を染め、衣類を作ること。電気も作ってみたい、鶏も飼ってみたい。それらの根底にあるのは、身の丈に合った、気持ちが循環する生活の中に身を置きたいという私達の願いです。「学校」という枠に留まらず、「里」をつくっていき、嬉々として取り組む大人の背中を見ながら、温かい眼差しを受けて子ども達が心と体で学び取っていくことが、これからの社会を生きていくために必要な力になると考えています。

里で学ぶ「学校たねの木」の子どもと、一緒に里をつくっていく大人の仲間を募集します。

学校部門：小学校1年生～中学校3年生

里部門：高校生～100歳

登校日：火曜日、木曜日、金曜日（学校部門）

### 主宰者のこと

都郷 なび

京都市出身

自然の流れに抗わない生き方を模索し、2009年津屋崎に移住。NPO 法人地域交流センター 津屋崎ブランチの一員としてまちづくりの活動を行う。2010年、紡ぎ屋を立ち上げ、聞き書き本づくりを始める。2014年に親となり、子どもは自分の人生を生きるために必要な力を持って生まれてきていると感じ、その力が伸びていく環境を作ろうと学校を始める。2022年、3人目の子どもを授かり、ドタバタ生活の中で生きることのシンプルさを実感している。好きな言葉は「これでいいのだ」。

